

令和7年度行政事業レビューにおける優良事業改善事例

事業名：海外の競争当局等との連携の推進

事業概要

- (1) 海外競争当局との協議や海外競争当局のウェブサイト等を通じた情報収集等による海外の競争法・競争政策に係る知見を収集する活動（活動内容①）
 - (2) 国際会議等への参加及び当委員会英語版ウェブサイトを通じた海外への発信（活動内容②）並びに開発途上国に対する技術支援（活動内容③）等による当委員会のプレゼンス向上のための活動
- を行うことにより、当委員会における競争政策の運営基盤の強化を図る

改善点の概要

- (1) 活動内容①については、AIを用いて英文の概要を把握するなどAIの機能の一部を活用して情報収集してきたが、職員のAIに関するノウハウがいまだ蓄積されておらず、AIの更なる活用には課題があった。そこで、利用できるAIの特性をよりの確に把握して活用するとともに、職員のAIに関するノウハウを蓄積し、業務フローの中で更にAIに任せられる部分を増やしていくことにより、人手を掛けずにより多岐にわたる情報収集及びその配信を可能としていく改善策を提示した。
- (2) 活動内容②については、近年英語版ウェブサイトのコンテンツが充実する効果がみられていたが、引き続き、多数の国際会議等に出席しスピーカーなどを務めることで、積極的に貢献することによる情報発信にも注力していく必要があった。そこで、新たな情報発信手段として、当委員会の活動に高い関心を有する海外在住の有識者に対し、そのニーズを踏まえた情報を提供することで、国際会議、ニュースレター等を通じた当該有識者を起点とする情報発信につなげるという改善策を提示した。
- (3) 活動内容③については、開発途上国によって競争法の導入状況が異なり、必要とする研修の内容に差があることから、海外の競争当局等から個別の研修の要望があった場合は、できる限り、当委員会がより機動的に企画立案できる独自の研修を活用し、個別のニーズに対応していくという改善策を提示した。

選定理由

- (1) 活動内容①及び②における課題の分析・特定及びその改善策が適切であるため、今後、事業の改善につながる見込みがあること
- (2) 活動内容①の改善策については、同様の手法（情報収集におけるAIの活用及びその活用の幅を広げる）について他の事業への活用の余地があり、また、生成AIの積極的な活用について、行政事業レビュー推進チームによる点検（サマーレビュー）の際に、同チームからも評価されたこと
- (3) 課題の特定やその改善策の策定過程において、事業内の全ての活動内容についての課題と改善策について具体的に記載し、また、行政事業レビュー推進チーム事務局からのレビューシートの改善のための指摘に対しても真摯に対応するなど、終始積極的な姿勢で取り組んでいることがうかがえたこと

選定プロセス

- ・ 行政事業レビュー推進チームの投票により令和7年8月に優良事業改善事例の選定を行った。

横展開の方法

- ・ 令和7年9月に、行政事業レビュー推進チームの統括責任者である官房政策立案総括審議官名で、幹部職員に対してメールを送信し、優良事業改善事例の周知を行った。さらに、同月、全職員が日常的に利用するグループウェアに優良事業改善事例を掲載し、全職員に対して周知した。